

5年後のビジョン

佐賀市市民活動プラザに市民活動に関わる多様な人々が集まり、多彩な活動を通して“幸せ（やってよかったという思い）感”があふれる。市民活動団体が活動をすすめるうえで必要な人材育成が進み、自団体だけでなく周りの団体や企業、行政等とも協働・連携できるようにネットワークを構築し、地域活動課題の解決が進む環境になっている。



平成29年度終了時のビジョン

市民への周知が進みプラザを知り利用することで、多様な人との出会いの場となり、交流会で知り合った団体、企業、人同士が協力し新たな事業へすすむきっかけを掴んでいる。今年度は、相談や活動でプラザを利用されている市民活動団体から人材育成をすすめ、人材育成に関する講座や研修を受講し、その一人ひとりが団体の中で必要な役目を担えるようになっている。また、活動を進めるうえでの問題点などを洗い出している。
指定管理者として来年度、更に前進した業務の推進ができるように今年中に業務の流れを掴む。



基本方針	平成29年度（特に下半期）の振り返り
①市民活動の実践者等に対し、活動等の場として施設提供を行う	【いどばたかいぎ・市民参加の交流会】 下半期も毎月第3金曜日に開催した。参加者数は上半期より少し減り（延べ参加者数）39名であったが、参加者は担当者の呼びかけで参加しようと思ったと言われていた。担当者の「いどばたかいぎ」への思いが伝わったのだと感じた。平成29年度の最後の「いどばたかいぎ」では、一年の振り返りをモニターに映し出し皆勤賞などの表彰もした。節分の日に「ハッピーフォーラム」と称し、午前中はひとり親家庭を対象、午後はだれでも参加できる交流会を開催した。このイベントは佐賀市でも初めて聞いた。行政の協力も大きく参加されたひとり親家庭の方から「もっとたくさんのひとり親に参加してほしい」など声をいただいた。 【広報誌やガイドブック】 一年を通して成長させてきた広報誌。市民活動団体のヒアリングを行い広報誌に取材記事を載せる。広報誌に載った市民活動団体は、私たちが手の届かない人へ渡してくれるという道筋を構築してくれた。市民活動ガイドブックは初めての作成で手間取ったが、予定通り12月に完成し掲載団体や必要とされるところへの配布も終わった。ヒアリングした団体をカラーページで紹介することで、よかったという声をたくさんいただいた。 【施設提供全般】 利用者数、利用収入は、目標数より上回り、来館者の満足度を向上させるための職員研修に力を入れた。社会課題別講座は、市民活動に関わるきっかけを作れた。
②市民活動団体・行政・企業等の協働・連携の場の拠点として機能する	【ヒアリング】 市民活動団体、企業のヒアリング数は、目標に届かず一年が終わってしまった。しかし、広報誌に掲載するために月一団体のヒアリングはできている。 【eモニター】 佐賀市の協力で、eモニターの実施ができ市民がどのような活動に興味があるのか調べた。それを活かし、研修及び講座業務で市民に向けた「まち歩き」など実施した。 【ポスターセッション】 佐賀市が主催する「地域づくり交流会」で、ポスターセッションを開催した。その後は、プラザのフロアで2週間くらい展示し、来館者にも見てもらいメッセージもいただいた。団体の活動を知ってもらうきっかけが作れた。開催後、実際に地域と団体がつながり協働で活動を行うなど喜びの声をいただいた。
③市民活動の実践者等に対する様々な支援を行い、事業が円滑に行われるように協力する	【HP/FB、メルマガ、助成金カレンダー】 ホームページは、ボランティアを含め職員全員の協力もあり、佐賀県のCSOポータルより掲載数が多くなった。また、助成金情報で佐賀で活動される団体に有益な情報は、メルマガ配信でお伝えし、助成金カレンダーにも反映している。相談支援員は、常に助成金情報を把握し相談者に情報提供できる状態にしている。情報は精査され提供されているため、質の高い情報提供ができていると思う。 【研修及び講座/機能・役割別研修】 担当者は、団体がどのような研修・講座を求めているかを常に考え開催した。満足度は目標値に届かなかった「NPO事務力アカデミー」は、団体に本当に必要な力であると団体自身わかっているため参加者は多かった。団体運営において必要だが、耳が痛い内容や苦しい内容の研修こそ、団体が運営する力にするための講座であると考えている。一気には力はないが、繰り返し勉強してもらうことで、団体が自立して活動できるようになると思う。満足度につながらなくても、本当に必要な講座は続けていく予定である。 【交流会】 市民活動団体同士が知り合い、お互いの活動を知ることによって別分野の団体とつながり活動の範囲が広がるなど、出会いをきっかけに団体同士、団体と人がつながり少しずつ活動基盤が強くなって行ければと思う。相談支援にもつながり、団体を見守っていきたい。